

目 次

ガス絶縁開閉装置仕様・保守基準	ガス絶縁開閉装置 仕様・保守基準専門委員会
委員会組織	(1)
まえがき	(4)
委員会設立の経緯	(4)
研究の経過	(4)
研究の概要	(5)
第1章 現状調査	(10)
1-1 GIS適用動向	(10)
1-2 事故障害実績	(14)
1-3 仕様に関する現状調査	(16)
1-4 現地試験に関する現状調査	(23)
1-5 現状の保守基準の問題点と課題	(26)
第2章 仕様の標準化	(28)
2-1 仕様の標準化	(29)
2-2 レイアウト	(33)
2-3 構成機器	(44)
2-4 監視制御	(58)
2-5 共通性能	(68)
2-6 今後の課題	(68)
第3章 GISタンクの合理化	(69)
3-1 GISタンクの現状調査	(69)
3-2 GISタンクの所要性能	(74)
3-3 タンク設計の合理化方策	(78)
3-4 今後の課題	(88)
第4章 現地試験の合理化	(90)
4-1 GISの信頼性	(90)
4-2 現地で気中開放する部分の信頼性	(98)
4-3 GISに対する今後の現地試験	(108)
第5章 保守基準の合理化	(109)
5-1 保守を必要とする部位とその劣化・消耗特性の把握	(109)
5-2 新しい保守基準の策定	(119)

付録－1	適用ガイド	(127)
付 1－1	レイアウト	(127)
付 1－2	ガス絶縁ケーブル設計	(157)
付 1－3	特殊責務	(165)
付 1－4	その他	(167)
付録－2	現状仕様調査	(168)
付 2－1	調査内容	(168)
付 2－2	調査結果	(169)
付 2－3	海外 GIS 仕様調査	(174)
付録－3	モデルタンク検証試験結果	(180)
付録－4	GIS 現地据付作業管理基準表	(185)
付録－5	起立・浮上電界式の導出	(187)
付録－6	実フィールド器の現地調査	(188)
付 6－1	劣化・消耗度合いの調査	(188)
付 6－2	目視点検判定基準	(188)
付 6－3	調査分析の方法	(188)
付 6－4	現地調査結果	(191)